

## 平成26年司法試験 合格体験記

平成23年度修了（未修コース）今村 恵美子

4期末修の今村恵美子です。育児・仕事をしながらの受験なので不安もありましたが、何とか、3度目の受験で合格することができました。

（在学中の学習について）

いわゆる受験勉強に関しては、予備校利用により可能であることが、旧試において明らかになっていました。そこで、私は、法科大学院に入学したからには、いわゆる受験勉強ではなく、「法の心」を理解するための学習をしようと決めていました。そこに法科大学院の存在意義があると考えていました。

したがって、在学中は、基本書・判例を読み、一見矛盾して見える判例がなぜそのような判断になっているのかをじっくりと考えました。時間的・精神的な余裕はロー生という立場でなければ手に入れることができないし、その学習こそが法曹としての基礎を作ったからです。

（修了後の学習について）

修了後は、合格のための受験勉強であることを強く意識しました。細切れの時間での学習が多かったため、短答の過去問中心でした。短答の肢を使って、六法を引きながら、規範・あてはめで短く答える練習を繰り返しました。短答出題の百選判例については、何の理解をチェックしようとしているのか出題の真意を考えました。条文から考え、「判例のその心は？」を考えるこの学習により、論文が書きやすくなりました。

このような修了後の限られた時間での学習でも成績が伸びたのは、やはり、在学中の基礎の叩き込みがあったからだと思います。

（最後に）

自分の合格を信じられなくなった時、私の合格を願い、力を貸してくださった先生・職場のみんな・友人・家族等周りの人たちの支えがあってこそこの合格です。心より感謝申し上げます。